

環境整備事業計画

INDEX

- 計画変更の経緯と変更点
- 各事業内容の紹介
 - 01. 部室改修
 - 02. 部室備品購入
 - 03. 内野グラウンド整備
 - 04. 外野グラウンド整備
 - 05. ベンチ補修
 - 06. 練習機器・設備品の購入
 - 07. 観客スタンドの設置
 - 08. 散水機貯水槽の交換

計画変更の経緯と変更点

100周年記念事業のうち環境整備事業につきましては、野球部の負担にて建設後、大学へ建築物を寄附する必要があるため、昨年12月に大学側へ計画を出し、相談をしておりました。

その間学生支援課に状況確認を行うなどしておりましたが、6月24日に底地面積増加につながる建物の新築は認められないという大学の方針が伝えられ、部室の新築、観客席の設置、雨天練習場の拡大等の案件は実現困難となり、計画は全面的な見直しを迫られることとなりました。

その後、選手マネージャーとも相談しながら世話人会で対応を検討し、また学生支援課とも相談し続けて参りました。環境整備事業計画は大きく3点の変更を策定し、このたび改めてご報告させていただきます。

1. 硬式野球部部室について

「大学敷地内への新規工作物の設置は不可」との大学の判断を受け、①改築、②改修の両面で検討いたしました。改築につきましては費用がかさむこと、またハンドボール部との相談の結果、現実的ではないと判断しました。そこで現部室を改修する方向で調整を行いました。大学にはすでに承認を得ており、2021年11月24日に着工し、2022年2月には完成の予定です。

2. 内外野グラウンドの補修について

グラウンド補修は当初外野だけを検討しており、内野につきましては3年に一度の定期補修にゆだねる予定でした。しかし選手の意見、実地調査、業者のアドバイスも踏まえた結果、内野にも本格的な補修が必要であるとの結論に至りました。マウンドや1塁側3塁側ブルペン、外野定位置周辺の補修も同時に行う必要がございます。

3. 観客スタンドについて

大学へ観客席の設置を打診したところ、新規工作物は不可とのことで、常設のスタンド設置は断念せざるを得ませんでした。そこで現在は折り畳み式のアルミ製観客スタンドの購入を検討しております。大学側の承認待ちの状況ですが、リーグ戦など必要なときのみ設置し、普段はたたんで倉庫に収納しておく、という使用方法を考えております。

次ページより、新たに策定しました環境整備事業計画に基づいて各事業を詳しくご紹介させていただきます。

各事業内容の紹介

これまでの部室



左写真のような外観です。1988年に建てられ築30年以上が経過しており、修繕を必要とする箇所が多くあります。床、壁、天井をはじめとして、ドアの交換や屋根と外壁の塗装なども予定しています。

2021年10月末まで、4学年で部員50名（うち女子マネージャー10名）で活動していました。選手用ロッカーは不足し、また女子マネージャーは部室の一部をカーテンで区切ったスペースを更衣室として使っています。

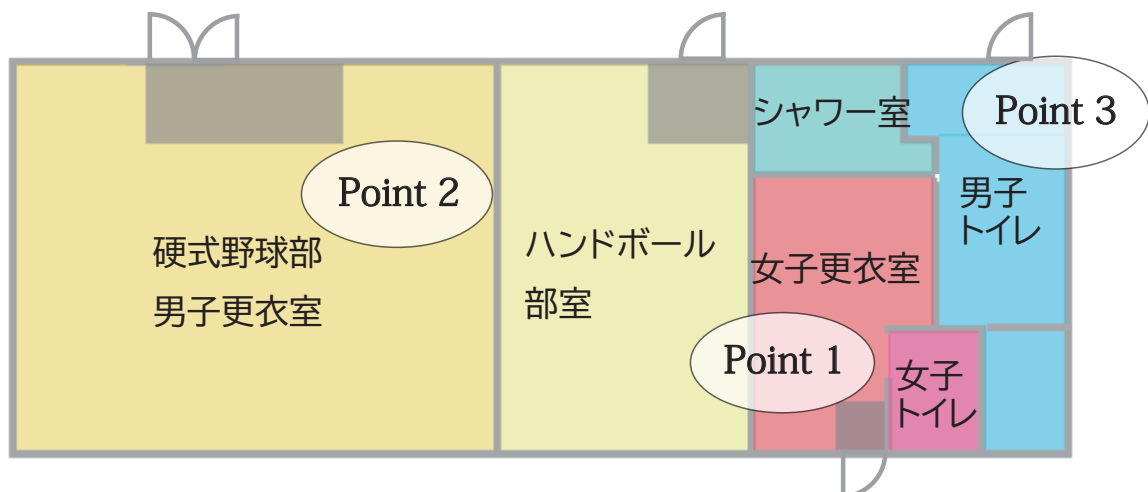


↑女子マネージャーの更衣スペース



←天井には穴があいてしまっています

改修後の間取り



各事業内容の紹介

01 部室改修

Point 1 女子更衣室・女子トイレ

男子トイレ・シャワー室の間取りを大きく変更し、これらを新たに組み込みます。女子マネージャーは部室の一部を更衣スペースにしていますが、作業部屋ができます。また女子トイレの設置により、観戦に来ていただいた方や試合運営で来る他大学のマネージャーも便利に使用していただけるようになります。

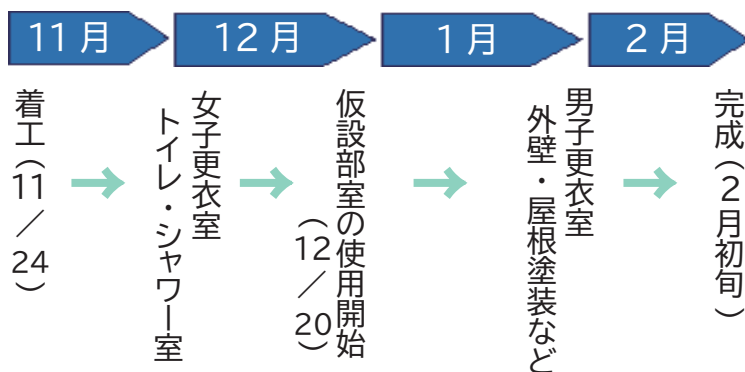
Point 2 男子更衣室

女子マネージャーのスペースだった分、男子更衣室も広く使えるようになります。今後も長く使用できるよう、部室内のレイアウトも工夫します。

Point 3 男子トイレ・シャワー室

もとの部室の間取りより狭くはなりますが、シャワーやトイレも新調され、より使いやすいものとなります。

工事スケジュール



予定通り進めば2022年2月中には工事が完了するスケジュールとなっています。春季リーグ戦では一橋のグラウンドも会場となります。試合のご観戦と合わせてぜひ足をお運びください。

完成イメージ

ユニフォームカラーに合わせた紺色を基調として屋根とドアの色を決定しました。外壁も塗装し直すため、外観から大きく生まれ変わったような部室になります。



各事業内容の紹介

着工日の様子

2021年11月24日に着工を迎えました。一球会副会長の高橋様、環境整備事業委員長の飯島様がグラウンドへお越しになりました。



上写真：左から一球会副会長 高橋様 (S52 卒)、宮建ハウジング 松本社長、環境整備事業委員長 飯島様 (S51 卒)

01

部室改修

費用

硬式野球部の費用は1100万円ほどを予定しています(ハンドボール部は別負担)。

新調予定のもの

○個人用・備品用ロッカー

現在部室で使用しているロッカーは経年による劣化が激しく、また個人用ロッカーの数が部員の数に不足しています。今回の工事を機に新調する予定です。

○冷凍庫など電化製品

マネージャーは、練習後に選手が使うアイシング用の氷を練習毎に作成しています。製氷機や新しい冷凍庫などの購入によって作業を効率化し、また練習動画を振り返るテレビモニターも新しくします。

イメージ

02

部室備品購入



ロッカー



製氷機

費用

計200万円ほどになる見込みです。

グラウンド整備の必要性



←雨の翌日のサードベース付近
地面が固く水たまりができやすく、状態を戻すのに非常に時間がかかる。

↓マウンドのピッチャープレート
長年替えておらず、ぼろぼろの状態。

現状土が雨で固まりやすく、雨水がたまり整備もしにくい状態にあり、イレギュラーバウンドにより怪我をする選手もでている状況です。マウンドやブルペンも含め全面的な補修を要しており、現在は具体的な施工内容や時期等を検討しております。



03

内野グラウンド改修

費用

500万円ほどを想定しています。

外野定位置の現状

外野グラウンド全体に雑草の混じりが多くなっていますが、定位置周辺は最も損傷が激しく、地面の凸凹も大きいです。外野手が走る際にも危険がある他、イレギュラーも多くプレーに支障をきたしています。定位置周辺を中心に芝の張り替えなどを行う予定です。



↑外野定位置、地面の凹みが大きい

費用

200万円ほどと見込まれます。

04

外野グラウンド改修

動画でもご紹介しています！

部室改修、内外野グラウンド整備については、事業前の状態を現地リポートした動画もございます。右QRコードを読み込んで、あるいはOBOGページ上のバナーからぜひご覧になってください！



ベンチ補修内容



各ベンチ内の椅子は脚の部分が経年により損傷が激しくなっているため、これを取り払い新たにベンチを購入することを検討しています。またベンチの屋根や壁の塗りなおし、現在水がたまりやすい地面の整地も予定しています。

05

ベンチ補修

費用

計 150 万円程度を見込んでおります。

バックネット塗装

現在バックネットは塗装が剥げている部分も多く、プレー中にボールが見えなくなることもしばしばあります。公式戦の会場となることや部室改修工事を行うことから、この機会にバックネット塗装も行うことを検討しています。



購入検討中のもの

- ピッチングマシン
- トレーニング器具

練習の質を高めるには、これらの練習機器が欠かせません。特にピッチングマシンは現在かなり消耗しており、新調する必要があります。

- 防護ネット
- 芝刈り機
- 物置

練習環境の安全性の確保する、また練習効率を上げるためにはネットや芝刈り機も必要となります。現在使用している芝刈り機はすでに経年による劣化が激しい状態です。

イメージ



ピッチングマシン



芝刈り機

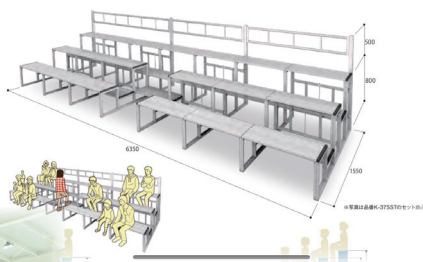
費用

計 250 万円程度を見込んでおります。

06

練習機器・設備品等の購入

製品イメージ



07

観客スタンドの設置

設置場所は、バックネット裏を予定しています。

試合の応援環境を改善し、OBOGの皆様によりグラウンドへ足を運んでいただくため、観客席を設置します。変更の可能性もありますが、2段25席を予定しており（写真と画像は3段のもの）、多くの方々に試合をご観戦いただくことができます。



費用

100万円程度を見積もっています。



交換の経緯

2019年秋にグラウンド整備で使用する散水機の受水槽が故障しました。リーグ戦で会場として使用することや夏の練習を考慮し、散水機の修理は不可欠と考えられました。

2020年2月に、『設備等助成金』（100周年記念事業に際し、現在はご寄付募集を停止しています）からの一時的な支出として、貯水槽交換の工事はすでに完了しております。

費用

300万円を使用いたしました。

08

散水機貯水槽の交換